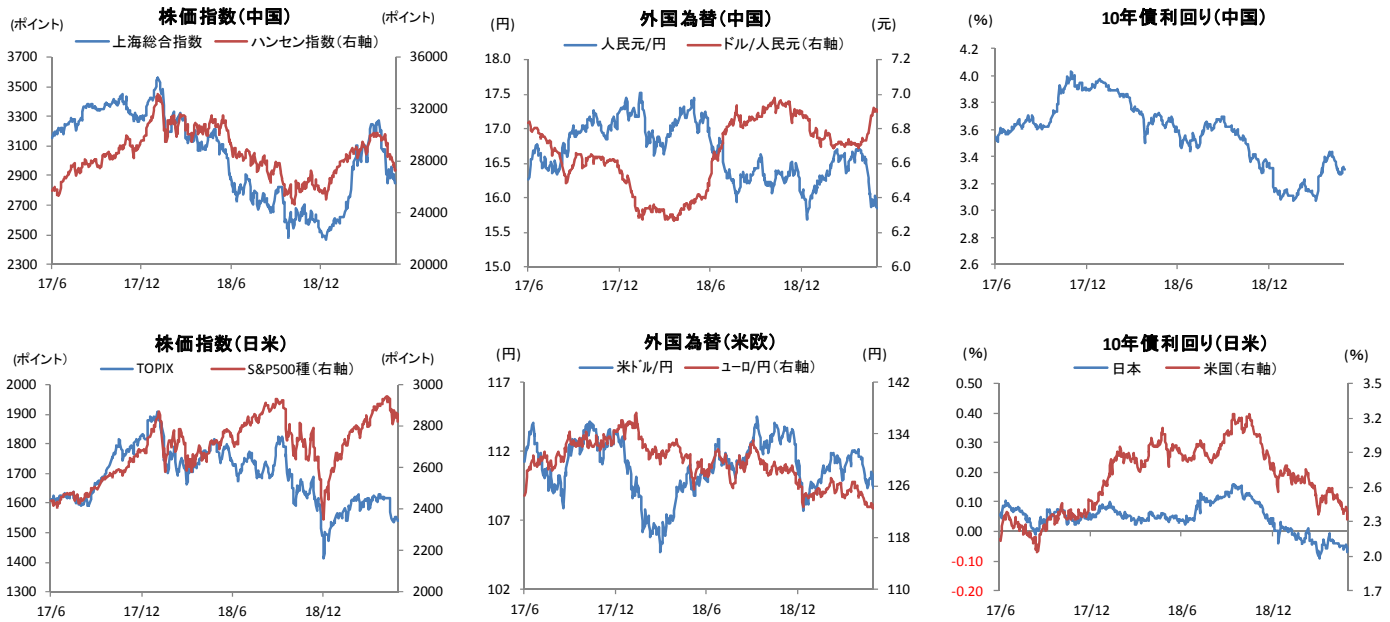
Weekly China Information 〈5月27日号〉

2019年5月27日

先週のマーケットポイント

- **米国による華為技術（ファーウェイ）への米製品の事実上の禁輸措置を受け、世界的にリスクオフに**
- **米国が追加で中国の5社にファーウェイと同様の措置を検討と伝わったことも、株価の重し**
- **世界的な景気悪化懸念等から米長期債利回りは一段と低下。人民元は7元/ドルの手前でもみ合い**

Market Trend



全て（期間:2017/06/23～2019/05/24、日次）　（出所）Bloombergのデータより岡三アセットマネジメント作成

News Watch

米国が華為技術（ファーウェイ）に対して米国製品の事実上の禁輸措置を発表して以降、世界の主要ハイテク企業を中心に株価は軟調な動きとなっています。さらに、米国はこの他に中国企業5社についても、商務省の「エンティティー・リスト」への追加を検討していると報じられ、米中通商摩擦激化への懸念が一段と拡大しています。ちなみにこの5社は、曠視科技（メグビー、非公開）、杭州海康威視数字技術（ハイクビジョン、002415）、浙江大華技術（ダーファテクノロジー、002236）、美亜柏科信息（メイヤピコ、300188）、科大訊飛（アイフライテック、002230）とのことです。

こうした米国の動きに対して、習近平国家主席がレアアース関連施設を視察したことで、中国は通商交渉でレアアース取引材料にするのではないかとの観測が広がりました。また中国商務省は、米中の交渉が中断しているのは米国側に非があるとの主張を展開するなど、米国の動きを牽制する形となっています。いずれにせよ、この問題については6月の大阪G20サミット頃まで曲折がありそうです。

Topics & more

日本をも巻き込みかねない米中のやり取りが続く中ですが、来日する中国人旅行者数は増加が続いています。4月の訪日外客数は292.7万人と単月で過去最高を記録しました。このうち中国からの旅行者は72.6万人で、4月としては過去最高でした。中国人の訪日需要は引き続き旺盛な様子です。

当社は5/21に「**中国人民元ソブリンオープンの運用状況**」を発行しました。中国の債券利回りは、米中通商協議の行方次第では上下に大きく変動する可能性があるものの、中期的には上昇余地は限定的と考えられる、という内容です。

以上（作成：投資情報部）

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、投資環境に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、特定のファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いします。

皆様の投資判断に関する留意事項（2019年4月末現在）

【投資信託のリスク】

投資信託は、株式や公社債など値動きのある証券等（外貨建資産に投資する場合は為替リスクがあります。）に投資しますので、基準価額は変動します。従って、投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた損益は、すべて投資者の皆様に帰属します。

【留意事項】

- 投資信託のお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
  また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 投資信託の収益分配は、各ファンドの分配方針に基づいて行われますが、必ず分配を行うものではなく、また、分配金の金額も確定したものではありません。分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

【お客様にご負担いただく費用】

■ お客様が購入時に直接的に負担する費用
購入時手数料：購入価額×購入口数×上限3.78%（税抜3.5%）

■ お客様が換金時に直接的に負担する費用
信託財産留保額：換金時に適用される基準価額×0.3%以内

■ お客様が信託財産で間接的に負担する費用
運用管理費用（信託報酬）の実質的な負担
：純資産総額×実質上限年率1.991088%（税抜1.8436%）程度
※実質的な負担とは、ファンドの投資対象が投資信託証券の場合、その投資信託証券の信託報酬を含めた報酬のことをいいます。なお、実質的な運用管理費用（信託報酬）は目安であり、投資信託証券の実際の組入比率により変動します。

その他費用・手数料

監査費用：純資産総額×上限年率0.01296%（税抜0.012%）
※上記監査費用の他に、有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用、受託会社の立替えた立替金の利息、借入金の利息等を投資信託財産から間接的にご負担いただく場合があります。
（監査費用を除くその他費用･手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率･上限額等を示すことはできません。）

●お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額若しくはその上限額又はこれらの計算方法を示すことはできません。

【岡三アセットマネジメント】

商　　号：岡三アセットマネジメント株式会社
事業内容：投資運用業、投資助言・代理業及び第二種金融商品取引業
登　　録：金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第370号
加入協会：一般社団法人 投資信託協会／一般社団法人 日本投資顧問業協会

上記のリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しております。各費用項目の料率は、委託会社である岡三アセットマネジメント株式会社が運用する公募投資信託のうち、最高の料率を記載しております。投資信託のリスクや費用は、個別の投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前に、個別の投資信託の「投資信託説明書（交付目論見書）」の【投資リスク、手続・手数料等】をご確認ください。

＜本資料に関するお問合わせ先＞
フリーダイヤル　**0120-048-214**　（9:00～17:00　土･日･祝祭日･当社休業日を除く）